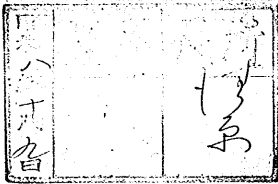


105



第 2630 號

昭和八年十月六日

大阪支所長 橋 本能 保 親

福岡出張所長 清 原 進 殿

總同盟大阪聯合會合同労働組合昭和八年度大會ノ件

財団法人協調會大阪支所

宣 言 (案)

日本香港従業員組合結成なる
 嘗て九個の自主的組織体は分属せる九午の同志は茲に斯くなる血盟を誓ひ勇躍して新戦線に就
 け出るのである。

顧みれば吾等が日本香港従業員組合聯盟を組織してより三年有半、果敢なる抗争を通じて奮し
 たるその実績が、香港労働者の期待を裏切らず、没落期資本主義の逆襲の裡に、隙を光芒を
 放つことを私かに喜びとするものであるが、香港事業に残存せる封建的諸要素を一刻急速に
 驅逐しつゝ、ある近代的大資本、金融資本の最近の動向を巨細に検討するとき不可避的なる彼等
 の全面的攻勢に對して香港労働者の生活権を防衛し、進んでその生活内容を向上せしむるがた
 めには、外に向つては未組織大衆を吾等の陣營に組織化すると共に、内に向つては即時網羅の
 如き統制と訓練とを確立する以外に途なきことを確信する。

聯盟体を單一組合に改組せんとする為等の熱意は一にこの要望を枢軸として実践化せられんが
 のであつて、時恰も非常時を以て呼稱せられ多秋、無産階級解放の運動が動すればブルジョ
 ア煙幕下にその方途を失けんとする危機に際し、吾等の宿望を遂げて、茲に擲しき第一歩を踏
 み出せる吾等は、対立階級の凡ゆる迫害と弾圧を断乎として粉砕すべき自熱的階級性を高調し
 つゝ、新陣地を死守し、健全なる労働組合主義の大旗の下に全香港労働者の生活権の擁護と伸張
 とに邁進することを廣く中外に誓明するものである。

昭和八年九月二十二日

日本香港従業員組合結成大會